

①学校名:	東北 大学(国立)	②所在地:	宮城県仙台市青葉区片平2-1-1		
③課程名:	地域イノベーションアドバイザー塾 (RIAS):ベーシックコース	④正規課程/履修 証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2016/4/23
⑥責任者:	地域イノベーション研究センター長 藤本 雅彦	⑦定員:	30名	⑧期間:	3ヶ月
⑨申請する課程 の目的・概要:	<p>地域経済の発展には、新たな事業イノベーションに挑戦し優れた事業戦略を実践する、地域企業の存在が不可欠である。このような地域企業の成長のためには、事業イノベーションの知識やスキルをもち、地域企業に伴走支援を行う地域金融機関などが重要な役割を担う。</p> <p>地域イノベーションアドバイザー塾(RIAS)ベーシックコースでは、こうした地域金融機関等の職員を対象として、実践的なマーケティングや事業モデルなどに関する知識やスキルを習得し、また事業者と同じ立場で、自らも新事業構想を企画する機会を提供している。多業種の事業者らとの真剣なディスカッションを通して革新的な新事業構想を策定することで、事業者の経営課題を解決するための支援力を涵養することが目的である。</p> <p>このような実践的なワークショップ等での経験を踏まえて、本コースを修了した「地域イノベーションアドバイザー」が、事業イノベーションを理解し、革新的な新事業を構想する地域企業の事業者を支援し、地域経済を活性化することを期待している。</p>				
⑩10テーマへの 該当の有無	中小企業活性化	⑪履修資格:	<p>以下の各号の条件をすべて満たす者とする。</p> <p>①高等学校を卒業している者。ただし、地域イノベーション研究センターにおいて高校を卒業した者と同等以上の学力を有すると認めた場合も履修可能とする。</p> <p>②地域の金融機関、公的支援機関および市制を敷く地方自治体の職員等で、機関から派遣される者(原則として入社5年目以降の者)。</p>		
⑫対象とする職 業の種類:	地域の金融機関、公的支援機関および市制を敷く地方自治体の職員等				
⑬身に付けるこ とのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 実践的なマーケティングや事業モデルに関する知識		(得られる能力) 革新的な事業構想力、事業者へのアドバイスカ、デザイン思考、論理的思考力、マーケティング力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、リーダーシップ		
⑭教育課程:	<p>①入塾式・入塾研修:(6時間) 優れたイノベーションによる新事業創出に成功した多くの事例を通して革新的な事業開発のために本塾が重視する視点を学ぶことにより、本塾での学習を方向づける。</p> <p>②講義:毎週火曜日夜2.5時間×11回(27.5時間) イノベーションと新事業開発のために欠かせない基本的な知識として、経営戦略、マーケティング、販路開拓、商品開発などについて、講義とディスカッションを通じて学習する。</p> <p>③事業構想実習:隔週土曜日終日6時間×6回(36時間) 事例研究とグループワークを通じて、実際に魅力的な新事業アイデアを構想化する。</p> <p>④成果発表会・卒塾式:土曜日終日(6時間) 塾生が作成した新事業構想についてのプレゼンテーションを行う。</p>				
⑮修了要件(修 了授業時数等):	<p>以下の「出席要件」と「卒塾レポートと成果発表の要件」を全て満たすことが、修了要件である。</p> <p>出席要件</p> <p>①入塾研修に出席(または録画視聴)して、ミニットペーパー(コメントシート)を提出すること。</p> <p>②毎週火曜日の夜間に開講される全てのオンライン講義に出席(または録画視聴)して、ミニットペーパー(コメントシート)を提出すること。</p> <p>③隔週土曜日に実施される全6回の事業構想実習(終日)のうち4回以上出席してディスカッションに参加すること。</p> <p>卒塾レポートと成果発表の要件</p> <p>①新事業構想の卒塾レポートを提出すること。</p> <p>②成果発表会で新事業構想を発表すること。</p>				

⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書、東北大学オープンバッジ						
⑰総授業時数:	75.5	時間	⑱要件該当授業時数:	64	該当要件	⑲要件該当授業時数 / 総授業時数:	85%
⑳成績評価の方法:	プログラムの管理運営を行う「地域イノベーションプロデューサー塾/地域イノベーションアドバイザー塾運営委員会」(以下、RIPS/RIAS運営委員会)の構成員等が、出席状況および策定した新事業構想レポートの評価基準(ターゲット顧客、価値提案の魅力度・新規性、事業の成長性、地域社会への貢献度等)による総括的評価を行う。						
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。プログラム実施組織であるRIPS/RIAS運営委員会構成員で定常的に点検するとともに、東北地域イノベーション推進コンソーシアム会議(企業・団体を含む委員で構成)を開催し、①カリキュラム編成、②人材育成(受講者満足度、学習到達度)、③プログラム運営の観点から、本プログラムの自己点検及び評価を実施する						
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	受講期間中は、各講義および実習終了後にアンケート調査(コメントシートの提出)を実施し、プログラム修了時には卒業アンケート調査を行う。また、修了生には、OBアンケート調査等を行い、本塾での学びによる事業に対する目利き力、支援力等の変化について効果検証を行う。						
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 東北地域イノベーション推進コンソーシアム会議を毎年開催し、本プログラムの実施・評価報告に基づいて、学外委員を含む各委員から意見聴取を行う。 (自己点検・評価) 東北地域イノベーション推進コンソーシアム会議を毎年開催し、本プログラムの実施・評価報告に基づいて、学外委員を含む各委員から意見聴取を行う。						
㉔社会人が受講しやすい工夫:	夜間のオンライン講義、隔週土曜日の対面およびオンラインでの開講およびウェブサイトを活用した予習・復習システム						
㉕ホームページ:	(URL) https://rirc.econ.tohoku.ac.jp/education/rias/						

事務担当者名:	垣見 徹征	所属部署:	東北大学 教育・学生支援部教務課 教育支援係
連絡先:	(電話番号)	022-795-3925	
	(E-mail)	kyom-d@grp.tohoku.ac.jp	

* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

* 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。